城南家保ニュース　Vol. 19-18

熊本県城南家畜保健衛生所　　平成１９年　１２月　発行

http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/jounan/jounan-index.htm

電話　0966―22―3814　、FAX　0966―22―3617

子牛の保温対策は万全ですか！

寒さが日に日に増してきています。これからの季節は、子牛にとって最もつらい季節です。肺炎や下痢が多く見られるようになります。防寒対策をとって冬場の管理の徹底に努めましょう。

１　子牛の保温は、？

子牛の保温は、冬季は当然ですが、晩秋や初春等の一日の気温差が１２℃以上の季節になると注意が必要です。子牛は、寒さに対応することが苦手です。その理由は、第１胃の発達が不十分なため体温の調節がうまくいかず、気温の変化に対応出来ません。

２　そこで、以下の対策を実施しましょう。

① すきま風を防ぐ

子牛の場所は、日光の当たりやすい場所を選び、ビニールカーテンやベニヤ板ですきま風を防ぎましょう。

② 保温箱等の利用

簡易なカーフハッチを利用したり、つり下げ式の電気式ヒーターで保温すれば効果的です。

③ 床からの冷気が下痢の原因にもなりやすいことから、乾いたオガクズを十分に敷いた上にワラをかぶせると保温効果が上がります。

④ 虚弱産子等には、ペットボトルを使った湯たんぽも効果的です。

⑤ 換気を忘れずに！

寒いからと言って、密閉してしまうとアンモニアガス、ほこり等によりかえって環境が悪化することがあります。天気の良い日中は、十分な換気を行いましょう。

電気式ヒーター

毛布で作ったベスト